



島教協

《すべては「子どもたちのために」》 情 報

<http://www.kyougikai.org>

 E-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 石原康博 編集人 吉田 修

No.631

島教協結成50周年記念大会開催

引き続き来賓の皆様方からは、島教協の真摯な取組に期待する、温かく力強いメッセージをたくさんいただいた。島教協はこれからも、島根の子どもたちのために、是々非々の立場で主張していくことを確認し、今新たな一步を踏み出した。

たと聞きます。先達のご苦労に思いを馳せると胸が熱くなります。」と、先輩諸氏への感謝を述べるとともに、「『すべては子どもたちのために』この理念のもと、特定のイデオロギーに偏ることなく、教育の正常化を訴え、島根の教育を新しい世代に伝えていきたい。」とこれから変わらない島教協の姿勢を力強く述べた。



挨拶する石原会長

十一月十四日(日)島根県教職員協議会結成五十周年記念大会が、出雲市内において開催された。県内外からの多数のご来賓、そして島教協を支えてこられた先輩OBの皆様のご臨席のもと、盛大に開催された。石原会長は挨拶の中で、「本協議会の立ち上げには大変なご苦労があつた

先達の「」労苦に思いを馳せ、
今新たな一步を



ご臨席いただいた来賓の皆様

ご臨席いただいた来賓の皆様

全日本教職員連盟 委員長	久保井規文様
衆議院議員	竹下 亘様
参議院議員	青木一彦様
島根県議会議員	佐々木雄三様
島根県教育委員会 教育次長	金 築 聡様
出雲市教育委員会 教育長	中尾一彦様
斐川町教育委員会 教育長	青木充之様
栃木県教職員協議会 事務局長	永松啓輔様
岐阜県学校職員組合 執行委員長	早野普文様
徳島県教職員団体連合会 委員長	坂本和生様
香川県教職員連盟 委員長	森 真 佐 純様
高知県管理職教職員団体連合会 副委員長	田 村 誠 様
山口県教職員団体連合会 委員長	村 田 考 洋様
福岡教育連盟 執行委員長	副 島 賢 三様
元島教協OB会長	和 田 貞 夫様
元島教協会長	石 田 誠 様



青木参議院議員



竹下衆議院議員



久保井全日教連委員長



中尾出雲市教育長



金築県教育次長



佐々木県会議員



会場風景



青木斐川町教育長

教師と保護者とのより良い関係を築く(気づく)ために

50周年記念講演会



講演する関根氏

記念式典に引き続き、関根眞一先生を講師に迎えての記念講演が行われた。日本初の大がかりな苦情心理調査「日本苦情白書」で明らかになった具体的な分析され、その事実に基づいての話は、非常に説得力があった。

また具体的な事例を挙げてのお話や、「話術、肯定、迅速、誠意、正確」という謝罪の五原則、教師の職業病とも言える部分や教師が苦手と感じる対応力のポイントとなる部分など、参加者のメモの手は止まらなかった。

最後には臨場感あふれるロールプレイがあり、対応の違いによって全く違う方向へ発展することがよく分かった。会話一つで味方につける話術は、これからの教育活動、保護者対応にとって必須の技術であり、とても有意義な講演であった。



保護者対応のロールプレイ

出雲市教職員協議会 出雲市教育委員会に対して 要望活動を実施



中尾教育長に要望書を渡す錦織委員長

出雲市教職員協議会は、十一月十日(水)出雲市教育委員会にて要望活動を行った。中尾一彦教育長をはじめ、部長、次長、課長の計八名の教育委員会側に対して、錦織孝

委員長をはじめ、副委員長や執行委員七名が現場を代表して、現場の様子や委員会の声・思いをしっかりと伝えるなど、要望活動を行った。

出教協は会員アンケートをもとにして、子どもたちのためになる施策、教育環境が向上する施策を様々に要望した。

市教委からは、ヘルパーの時間給見直しの検討や、就学時健康診断診断票への保護者名仮打ち、幼稚園教諭採用枠の年齢制限の検討など、昨年度よりも一歩進んだ回答をいただくことができた。

ただ、出雲市の財政事情の厳しさを具体的な数字を挙げて説明され、予断を有さない状況ではあることは十分理解できた。また、そういった中でも、出雲の子どもたちのために教育費が十分確保できるように努力していくとのことであった。

届け！会員の声 署名総数三六八〇筆

今年度も署名活動にご協力いただき、ありがとうございました。今年度は4種類の署名を集めていただき、大変だったと思いますが、おかげでたくさんの方の署名を集めることができました。

1 文部科学大臣宛 九〇〇筆
2 衆議院議長宛 九〇〇筆

この二つは教職員の定数改善、人材確保法の尊重、義務教育費国庫負担制度の拡充についての署名で、全国から八万筆の署名が全日教連に集められ、全日教連が国会と政府に届けます。

3 島根県知事宛 九四〇筆
4 県議会議長宛 九四〇筆

この二つは現在行われている給与の特例減額率の縮減を求めたもので、それぞれ事務局長が長岡人事課長を通して溝口知事に、佐々木県議会議員を通じて議会へ届けました。長岡課長、佐々木議員ともに、先生方の思いはよく分かったと理解を示された。



長岡課長へ署名を渡す



佐々木議員へ署名を渡す